

## 中国地区品質経営協会 シンポジウム

# 組織活性化・人材育成

## - 参加のお勧め -

日本の総人口は2008年をピークに減少が続き、2048年には1億人を割り込む見込みとなっています。そして、総人口の減少に伴う労働人口の減少は日本経済において大きな課題となっています。

深刻な人手不足を受け、専門的・技術的な外国人受け入れ制度の在り方の検討が2018年の経済財政諮問会議にて総理より指示されました。

そして2018年12月8日、第197回国会（臨時会）において「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が成立し、在留資格「特定技能1号」・「特定技能2号」の創設、出入国在留管理庁の設置等の内容が決定しました。

そこで今回のシンポジウムでは、出入国在留管理局の方にお越しいただき、特定技能制度の概要、及び外国人行政の課題等をご講演頂き、既に外国人材の活用を進められ、経済産業省から高度外国人材活躍企業にも選定されているシグマ株式会社様より、具体的な活用方法と課題についてご講演頂きます。

その後のパネルディスカッションでは、広島工業大学名誉教授の久保田洋志先生をコーディネーターに、参加者の皆様からの質問への回答も交え、本音の意見交換ができればと考えています。

分かりやすく実りのあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、是非多数の皆さまのご参加を賜りますようご案内申し上げます。

日 時 : 2019年12月13日(金) 13:20 ~ 17:00 (13:00 開場)

会 場 : 広島商工会議所ビル1階 101会議室

プログラム :

### 第一部 講演 (13:25 ~ 14:25)

『外国人行政の課題と展望 外国人が日本で働くために！』

広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 首席審査官 関 秀継 氏

広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 統括審査官 岡村 匡祐 氏

### 第二部 講演 (14:35 ~ 15:35)

『人型未来企業への成長を目指して！ 海外人材の重要性と活用方法』

シグマ株式会社 代表取締役 下中 利孝 氏

### 第三部 パネルディスカッション (15:55 ~ 16:55)

・広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 首席審査官 関 秀継 氏

・広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 統括審査官 岡村 匡祐 氏

・シグマ株式会社 代表取締役 下中 利孝 氏

・広島工業大学名誉教授 久保田 洋志 氏 (コーディネーター)

講演者/講演要旨紹介

< 講演 >

【講演者】

関 秀継 氏（広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 首席審査官）

【略 歴】

- ・1984年 大阪入国管理局入局。
- ・1994年 2年間、中国復旦大学に留学。  
帰任後、偽装中国残留邦人の調査等に従事。
- ・2002年 在広島日本国総領事館領事として査証審査の効率化を推進。
- ・2009年 在中国日本国大使館 一等書記官として訪日中国人の増加のための査証緩和を推進。
- ・2012年 大阪入国管理局に首席審査官として帰任後、京都出張所長、審判部門首席審査官等を歴任。
- ・2017年 広島入国管理局（現：広島出入国在留管理局）首席審査官。現在に至る。



岡村 匡祐 氏（広島出入国在留管理局 就労・永住審査部門 統括審査官）

【略 歴】

- ・2004年 民間企業勤務を経て、広島入国管理局入局。
- ・2010年 大阪入国管理局で在留外国人に関する審査業務等。
- ・2019年 4月より広島出入国在留管理局就労・永住審査部門統括審査官。



【講演要旨】

在留外国人数は年々増加し、昨年末には 270 万人を突破する中、各産業分野における深刻な人手不足を背景として、新たな在留資格「特定技能」が創設されました。今後、外国人の在留形態は一層多様化することが見込まれ、これまで外国人行政を担ってきた法務省入国管理局は、新時代の外国人行政において中心的な役割を果たすため、本年 4 月に出入国在留管理庁として新たに出発することとなり、在留外国人支援や共生社会実現という極めて大きな役割を担うことになりました。

本講演では、外国人行政の課題や展望、外国人が日本で働くための在留資格、活動できる内容、特定技能制度の概要などについて説明します。

## &lt; 講演 &gt;

## 【講演者】

下中 利孝 氏（シグマ株式会社 代表取締役）

## 【略 歴】

大学卒業後、父親が経営する株式会社下中工作所（現シグマ株式会社）を継承。一社偏重下請け賃加工であった会社を、強みである冷間鍛造技術を中心とした各種成形技術に絞り込むことによって提案型企業へと導き、そしてグローバルマーケットを睨んだ企画型企業へ向けて変革しつつある第二創業型経営を実践。さらにセキュリティ事業を興し、万引き防止装置などの「自社製品」を開発、成長著しい中国を中心とした海外事業を軌道に乗せインドにも進出、パテント戦略を基にした新技術・新商品・新事業開発にも意欲的取組みをしている。



最近ではオンリーワン技術であるレーザー光による傷の検査装置を開発事業化し、自動車メーカー、大手部品メーカーにも納入し、独自の基盤を築きつつある。

- ・2014年 レーザー傷検査装置事業、企画型部品事業が評価され、経済産業省GNT（グローバルニッチトップ）100選の認定受賞を受ける。
- ・2017年 地域未来牽引企業へ認定される。
- ・2018年 梶山地方創生大臣の訪問。  
5月 経済産業省より「高度外国人材活躍企業50社」に選定をされる。  
12月 首相官邸でのまち・ひと・しごと創生会議にて「プロフェッショナル人財を活用した取り組みについて」と題して発表をする。
- ・2019年 10月 「産業標準化事業表彰」を受賞。

## 【現 職】

共同組合ひろしまジョイントワールド 代表理事  
 社団法人 日本自動車部品工業会 理事  
 社団法人 日本自動車部品工業会 西日本支部 副支部長  
 アース研究会 幹事, 呉郷心会 理事, ひろしま生産技術の会 幹事  
 公益財団法人 ひろしま産業振興機構 国際室 委員

## 【講演要旨】

地方中小企業であるシグマは早くから海外人財の採用を進めてきており、その人財を活用することにより独資での中国、インドへの売上ゼロからの進出を果たし、レーザー検査装置などの高度な技術開発等多くの分野で活躍をしてもらっております。その考え方と活用方法と課題についてお話をさせていただきます。

パネルディスカッション コーディネーター紹介

久保田 洋志 氏 (広島工業大学名誉教授・工学博士)

[略 歴]

1972年広島工業大学工学部経営工学科講師, 1980年助教授, 1988年工学博士(東京工業大学), 1989年工学部教授, 2012年名誉教授

[現 職]

TPM 優秀賞審査委員, 日本品質管理学会名誉会員,  
JSQC 選書特別委員会委員, 一般財団法人日本規格協会顧問,  
日本情報経営学会名誉会員, 中国地区品質経営協会運営委員長 他

[主な役歴]

デミング賞審査委員, 日本品質管理学会 副会長, QC サークル本部幹事 他



会場案内

広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室

広島市中区基町 5-44 TEL (082) 222-6610 (代表)



- ・相生通り(国道 183 号線) 沿い原爆ドームの向かい。
- ・路面電車 系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター県庁前等で下車。

参加要領

- [定 員] 150 名
- [参 加 費] 会員会社 無料 (非会員会社 3,000 円 / 一人)
- [申 込 締 切 日] 2019 年 11 月 29 日 (金)
- [申 込 方 法] 参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、又は E メールにてお申し込み下さい。

シンポジウム「組織活性化・人材育成」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会 行

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号（世良ビル404号）

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail : qmac@a1.mbn.or.jp URL : <http://qmac.jp/>

会社名	申込責任者：		
	TEL：		
	e-mail：		
住所（〒            ）			
参加者名	所属・役職		
参加（計            名）	受付確認連絡	必要	・ 不要
参加（計            円）	請求書発行	必要	・ 不要

ご記入頂いた企業・組織および個人情報は、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。